

令和7年度職員自己評価 (令和8年1月実施 2月公開)

○くるみ保育園の理念 (心に太陽を くちびるに歌を)

- ・温かく、明るい雰囲気の中で、たくさんの遊びと数多くの体験を通して丈夫な身体と豊かな心を育む。
- ・子どもの発達段階と安全を考慮しながら、充実した活動ができるように環境を整える。
- ・一人ひとりの個性と人権を尊重し、愛情を注ぎ、子どもや親との信頼を築く。
- ・すべての職員が必要な情報を共有し、率直に意見を出し合い、専門性を発揮しながら相互に理解し合うとともに、チームワークや他機関との連携を大切にする。

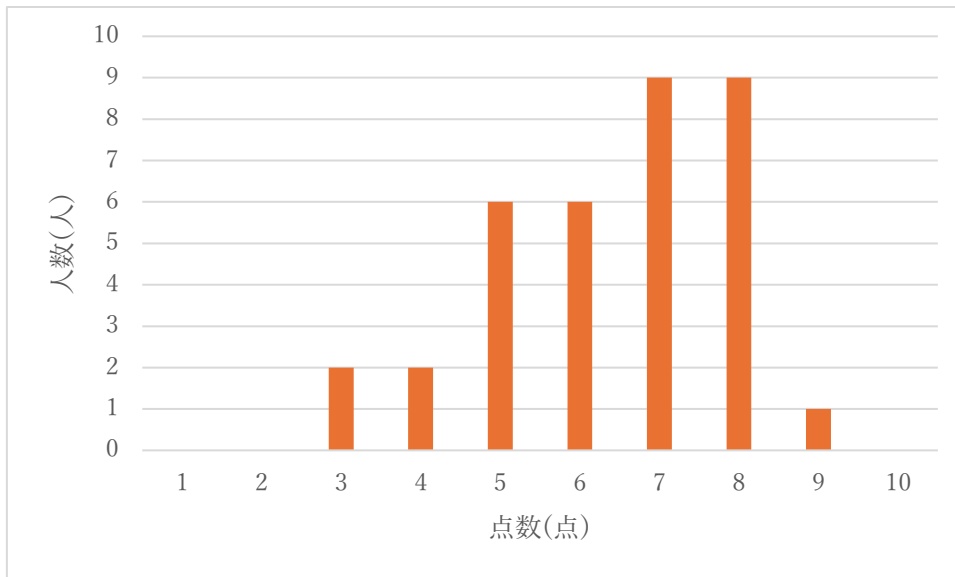
○育てたい子どもの姿

- ・相手のことを思いやりを持って接することができる子ども
- ・自分の気持ちを素直に伝えられる子ども
- ・見通しを持って行動できる子ども

○くるみ保育園の目指す職員像

- ・好奇心を大切にし、ものをよく観察し、感性が豊かなこと
- ・常に子どもの為に、誠実に行動し、改善を続けること
- ・チームワークを大切に率直に意見を出し、相談し、「ありがとう」を声に出すこと

1. 令和7年度の自己評価を振り返り、現時点での達成度



2. 園の理念と照らし合せた時、あなたが現在までで取り組めたことは何ですか？

- ・楽しい環境づくりを大切に、クラス内で話し合いながら保育を進めた。一人で抱え込まず他の職員と協力しながら、子どもの負担を減らすよう意識した。個々の対応が難しい場面でも、その子の気持ちを尊重する関わりを心掛けた。

- ・年齢による発達差を踏まえ、子ども一人ひとりのペースに合わせた活動ができるよう工夫し、無理なく成長が促せるよう意識して保育に取り組んだ。またクラス内で方向性を共有できるよう話し合いを大切にされた。
- ・子どもたちが多くの遊びや体験を行うことはできたが、保護者との信頼関係づくりや職員同士のチームワークについては難しさを感じる場面もあった。
- ・明るく温かい雰囲気の中で子どもに寄り添う保育を心掛け、子どもの興味や関心に合わせた遊びや活動を提案し、様々な体験ができるよう意識して関わってきた。
- ・一人ひとりの個性を尊重し、愛情を持って関わることを大切にしながら、子どもの発達段階を意識した保育計画や環境づくりに取り組んできた。

3. **目指す職員像と照らし合わせた時、あなたが現在までに実践できたことは何ですか？**

- ・クラス内で常に声を掛け合い、相談しながら活動をした。子どもの興味に合わせて環境を整え、笑顔と明るい雰囲気の中で保育を行うことを心掛けた。
- ・子どもたちが楽しく生活できるよう話し合いながら改善を重ね、子どもの目線で物事を見て一緒に喜びや驚きを共有することを意識した。またチームワークを大切にし、子どもの対応についても相談しながら進めた。
- ・挨拶を大切にしてきたが、保護者に直接声を掛ける機会が少なかったと感じている。
- ・行事や日々の保育においてクラス内で協力しながら取り組み、お互いに意見を言いやすく困った時に相談できる関係づくりを意識して関わってきた。
- ・子どもが楽しめるよう保育者自身が玩具で遊ぶ姿を見せるとともに、お楽しみの時間には発達に応じて興味や関心が持てる活動を意識して取り組んできた。

4. **達成度の点数の理由を具体的に記入してください。**

- ・保護者の声や思いに耳を傾けながら、様々な価値観や困り感を踏まえ、どのように対応していくかを考えながら保育や発信に取り組んできた為。
- ・日々の保育を振り返りながら、研修や職員同士の学び合いを通して専門性をさらに高めていく必要があると感じた為。
- ・研修を通して保育について改めて考え、日々の関わりを振り返りながら学びを深めていく必要性を感じた為。
- ・試行錯誤しながら保育を行い、クラス内での保育の進め方や職員同士のコミュニケーションについては一定の手応えを感じている為。
- ・子どもたち一人ひとりの姿を大切にしながら日々の保育に取り組み、子どもが安心して過ごせる環境づくりを意識してきたので。

5. 総括（園としての評価）

今回の自己評価では、子ども一人ひとりの気持ちや発達段階を大切にしながら保育を行うことや、職員同士で話し合い協力しながら保育を進めているという意見が多く見られました。日々の保育の中で子どもに寄り添う姿勢や、クラス内での連携を大切にしている様子がうかがえます。

一方で、保護者との関係づくりや、職員間での共通理解をさらに深めていくこと、などが今後の課題として挙げられました。

これらの結果を踏まえ、今後も子ども一人ひとりを大切にしながら保育を行うとともに、職員同士の連携や学び合いを深めながら、より良い保育環境づくりに努めていきます。